

# 平成19年4月分電力需給状況

## 需要の概要

平成19年4月の販売電力量は、22億4百万kWh時、前年比 98.9%となった。

### 〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、3月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる暖房需要の減少などから、前年比 93.6%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、自家発電の廃止などから、前年比 102.5%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、鉄鋼などが前年を上回ったことから、前年比 105.3%となった。

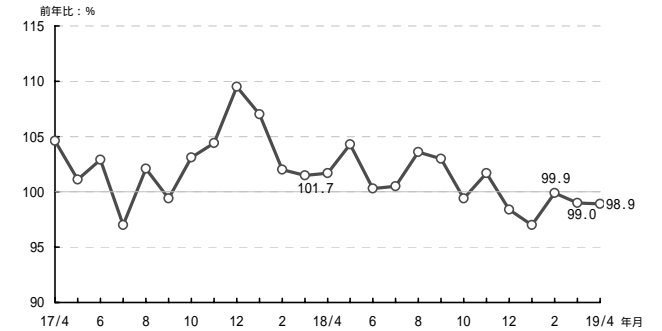
## 需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要以外の需要	電 灯	743	93.6
	電 力	153	90.1
	計	896	93.0
特定規模需要(自由化対象)	業務用電力	438	102.5
	産業用電力	870	103.7
	うち大口電力	(683)	(105.3)
	計	1,308	103.3
販売電力量 計		2,204	98.9
融 通		577	145.6

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



## 大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		19/4月	19/3月	19/2月
紙・パルプ	134	107.7	108.1	114.5
化 学	140	100.3	98.9	105.9
鉄 鋼	84	114.5	112.6	100.0
機 械	134	100.0	101.1	100.4
そ の 他	191	107.6	107.7	105.7
合 計	683	105.3	105.1	105.5

(参考2) 4県都平均気温

( )

	19/3月				19/4月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	9.8	7.6	13.6	10.4	12.8	14.3	16.9	14.7
平年差	1.9	1.6	3.0	1.1	0.1	0.3	0.6	0.1
前年差	1.4	0.7	3.7	1.5	0.2	0.1	2.6	0.8

## 供給の概要

- 原子力は、前年の定期検査の反動により、前年比 116.2%となった。
- 水力は、湧水により、前年比 35.9%となった。
- 火力は、水力の減少や融通送電の増加により、前年比 123.2%となった。

## 供給実績

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比	備 考
原子力	( 42) 1,255	116.2	出水率 49.5% (18年4月出水率 126.3%)
水 力	( 5) 147	35.9	
火 力	( 52) 1,562	123.2	
新工ネ	( 1) 21	163.2	
発受電計	(100) 2,985	107.8	
その他	0		
供 給 計	2,985	107.8	

注：( )内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	( 98.4) 500	( 98.4) 358	( 99.4) 778	( 98.8) 568

注：( )内は前年比